

## ■効果の見える治水事業

### 徳島県 奥潟川 総合流域防災事業

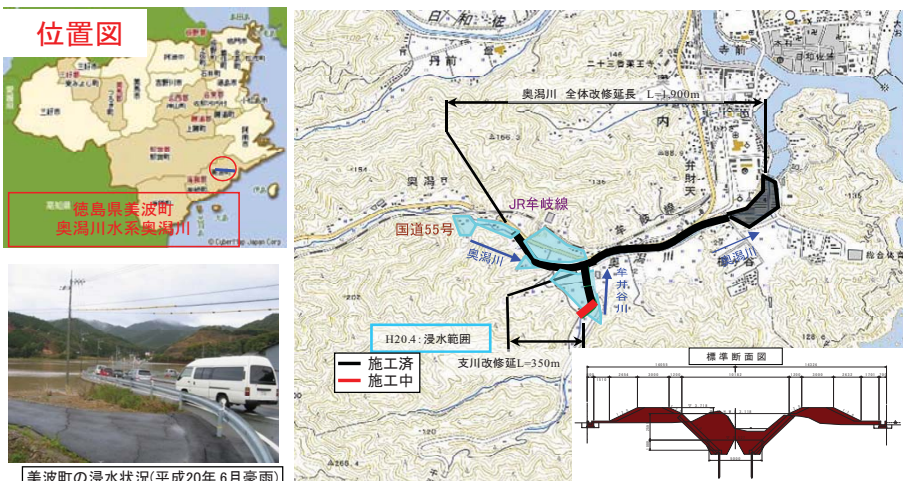
おくがたがわ

徳島県 南部総合県民局 県土整備部 副部長  
いけだ かずひと  
池田 一仁



- 事業概要 奥潟川は、美波町北部に位置し、牟井谷川と合流し、太平洋へ注ぐ流域面積約6km<sup>2</sup>、流路延長約3kmの二級河川です。  
奥潟川は、川幅が狭く堤防が低いことから大雨のたびに水が溢れて、周辺地域では浸水等の被害がたびたび発生していました。とくに、昭和41年8月の台風13号では、中流域から下流域において甚大な被害が発生しました。  
このため、概ね30年に1回程度発生する規模の洪水を安全に流下させることを目標として、昭和44年度に河川改修事業に着手し、平成19年度までに県道日和佐牟岐線（南阿波サンライン）の千羽口橋までが完成し、下流域での被害は大きく軽減されました。  
しかしながら、上流域においては平成20年4月、平成20年6月、平成22年4月の各豪雨時には、家屋の浸水被害が発生し、また緊急輸送路に指定され日常生活においても欠かせない生活道路である国道55号が通行止めになるなど、住民の方々の不安は解消されておりました。  
このため、県では残工事に重点投資を図るなど鋭意改修工事を進め、平成22年度末には奥潟川本川（L=1,550m）を完成させ、現在は支川牟井谷川の改修工事を進めているところです。この牟井谷川の本年度末完成をめざし工事を進め、奥潟川流域全体の安心安全の確保に努めてまいります。

- 施行箇所 美波町  
○施行期間 昭和44年度～  
○施行内容 施行延長 L=1,900m  
河道掘削、護岸、樋門、橋梁等



美波町の浸水状況(平成20年6月豪雨)



美波町の浸水状況(平成22年4月豪雨)



護岸・河道掘削の整備完了状況



上流部の河道狭小部

## 住んでよかったと実感できるまち



徳島県 美波町長 影治 信良

美波町は昔から上灘と呼ばれており、徳島県の南東部に位置しています。海部山脈を背にし、南東に太平洋を望み、黒潮の恵みを受けた良好な漁場を有しています。海岸線は、非常に変化に富んだ風光明媚なリアス式海岸で「千羽海岸」やアカウミガメの産卵地「大浜海岸」などを有し、室戸阿南海岸国定公園の中心に位置しています。

このように自然に恵まれたわが町ですが、年間降雨量は約3000ミリという日本有数の多雨地域であり、これまでも台風や集中豪雨などによって何度も被災を受けています。

また、昭和南海地震では、8名の方の尊い命が失われました。近い将来必ず発生するであろう東南海・南海地震の津波被害を最小限にすべく、自助、共助、公助の精神のもと住民と協働した取り組みを進めているところでありますが、東日本大震災を受け、東南海・南海・東海の3連動地震がおきることを想定した地域防災計画の見直しが、急務と考えています。

平成22年度末には、長年の懸案事項でありました奥潟川本線の河川改修の完成により、一般国道55号（第1次緊急輸送路）の道路浸水（通行止）の解消への期待が高まります。平成23年7月16日には、「命の道」と熱望していました日和佐道路（高規格道路）の全線開通の運びとなりました。地域の安心安全に多大な効果が発揮できるものと大いに期待しているところです。

最後になりましたが、事業の完成にあたり、ご尽力いただきました関係各位に感謝申し上げます。

